



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和5年3月20日（月）岐阜県発表資料		
担当所属	担当者	電話番号
森林文化アカデミー	久津輪 雅	代表 0575-35-2525
文化伝承課 伝統文化係	末松 光孝	内線 3145 直通 058-272-8754

## 「彫刻刃物の技術継承を考える車座集会」を開催します

岐阜県では、2019年から『匠の技を支える「道具」保存伝承事業』を実施し、文化財の保存修理や伝統工芸品の生産等に用いられる道具を中心に調査を行ってきました。

これまでの調査結果を関係者間で共有し、今後求められる対策について考えるイベントを下記のとおり開催します。

### 記

- 1 日時 令和5年3月29日（水） 14:00～17:00
- 2 場所 日下部民藝館（岐阜県高山市大新町1-52）
- 3 内容
- 調査結果の報告
    - ・令和4年度『匠の技を支える「道具」保存伝承事業』の調査報告
    - ・彫刻ノミ鍛冶「小信」<sup>このぶ</sup>での研修結果報告
  - ディスカッション
 

テーマ 「文化財・伝統工芸を支える彫刻刃物の現状と求められる対策」

登壇者 <sup>もりた なおき かななかじ ちよづるさだひで</sup> 森田 直樹（鉋鍛冶職人・千代鶴貞秀工房）  
<sup>かどわき ゆたか</sup> 門脇 豊（公益財団法人 美術院・研究部長）  
<sup>にし よしつね かんない</sup> 西 禎恒（鉋台職人・本事業調査員）

コーディネーター <sup>くつわ まさし</sup> 久津輪 雅（岐阜県立森林文化アカデミー教授）
- 4 参加者 文化財修理職人、伝統工芸職人、市町村文化財・伝統工芸担当者など、50名程度

### 匠の技を支える「道具」保存伝承事業

岐阜県では、文化財の保存修理や伝統工芸品の生産等に用いられる道具の供給体制の実態を把握するため、2019年度より道具の使い手である県内の工芸職人・技術者等と、作り手である全国各地の道具鍛冶職人への聞き取り調査を行ってきました。また、調査結果（中間報告）を共有するためパネルディスカッションの開催や調査報告書を発行してきました。